

ジャカルタ MRT
南北線の貫通祝う
OCG
オリエンタルコンサルタン

ツグローバル（OCG）は2日、インドネシア初の地下鉄となる大量高速輸送システムであるジャカルタ MRT（Mass Rapid Transit System）南北線のトンネル貫通式が2月23日に開かれたと発表した。同社は施工監理のコンサルタ



ウィドド大統領（左）と
米澤栄二 OCG 社長

ント業務を担当している。

同国は、急速な経済発展を背景に慢性的な交通渋滞が都市機能をまひさせる深刻な状況に陥っており、公共交通の整備が喫緊の課題となっている。ジャカルタ MRT 南北線は、郊外から市内への自動車の流れを大きく減らすことが期待されており、急ピッチで施工が進められてきた。第1期工事の地下区間が貫通し、ジョコ・ウィドド大統領の立ち会いのもと、貫通式が開かれた。

第1期工事は、レバックブルス駅からブランダランハイ駅をつなぐ全長15・7キロ。地下区間5・9キロ、高架区間9・8キロで、2013年8月に着工し、19年2月の完成を予定している。